

# 第23回 日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境地区 建設促進大会

夢結ぶ 地域おこしの 沿岸道

H22 年度最優秀賞受賞標語(中学生以下の部)



**日時** 平成 23 年 11 月 25 日(金)15:00-16:15

**会場** 村上市総合文化会館(村上市岩沢)

# 第23回 日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境地区 建設促進大会

## 次 第

1. 開 会
2. あ い さ つ
3. 来 賓 祝 辞
4. 来 賓 紹 介
5. 意 見 発 表
6. 大 会 決 議
7. 閉 会

## 意見発表者プロフィール

---

◇ いたがき 板垣 せいいち 清一 氏 村上市荒沢区長

---

◇ とがし 富樫 しゅういち 秀一 氏 ミネラル工房 代表

---

◇ いからし 五十嵐 かずひこ 一彦 氏 鼠ヶ関地域協議会 蓬萊塾 事務局長

---

◇ はらだ 原田 すすむ 進 氏 マーレ エンジン コンポーネンツ  
ジャパン株式会社 管理部 部長

---

## 大会決議（案）

先の東日本大震災においては、太平洋側に位置する高速道路や鉄道、空港、港湾等の多くのインフラが被害を受けた。高速道路は、国及び東日本高速道路株式会社の迅速な対応により、発生翌日には緊急車両が通行可能となるなど、被災地からの避難や救援物資の輸送に大いに貢献した。

震災後は、新潟、山形両県においても、日本海沿岸東北自動車道や一般国道7号の交通量が大きく増加し、被災地への支援物資輸送面において大きな役割を果たしてきた。

このように、防災面での日本海国土軸の重要性が再認識されたことから、より迅速で確実な支援を可能とするため、日本海側と太平洋側とが一体となった「災害に強い高速道路のダブルネットワーク」を緊急に整備することが求められている。

そのような中、計画段階評価の実施がなされたことは大きな前進である。しかし、新潟・山形県境を結ぶ道路は一般国道7号1路線のみであり、津波浸水予想区域や連続雨量による通行規制区間などの不安要素を抱え、災害時の代替機能、住民の安全・安心が確保されるまでは程遠い状況にある。

また、当地は大自然が育んだ景勝地「笹川流れ」、名湯「あつみ温泉」、「瀬波温泉」のほか、様々な農林水産物や伝統文化が脈々と息づく希少な地域である。これらの資源を戦略的に活用し、観光をはじめとする産業振興を図り、交流人口の増加と定住を推進するためには高速道路の整備が不可欠である。

古くから親交の深い村上市と鶴岡市の県境地区は、思いを一つにして、長年、地域住民が一体となってこの運動に取り組んできたところである。

以上を踏まえ、日本海沿岸東北自動車道の早期実現に向け、次の事項について政府及び関係当局に要望する。

## 記

一、日本海側と太平洋側とが一体となった災害に強い高速道路のダブルネットワーク化を図るため、新潟・山形県境部（朝日～温海）の約36km間について、早期に環境影響評価を実施し、整備計画を策定すること。

一、高速道路未整備区間の道路事業評価手法については、安全・安心の観点からの評価を盛り込むなど、地方の意見や実情を反映した高速道路の整備の仕組みを早期に決定すること。

一、新潟県と山形県を結ぶ高速道路の早期完成と地域間格差の解消へ向けた道路整備を推進できるよう、震災復興予算は別枠で確保し、真に必要な道路整備を推進するための予算について確実に確保すること。

以上、決議する。




平成23年11月25日

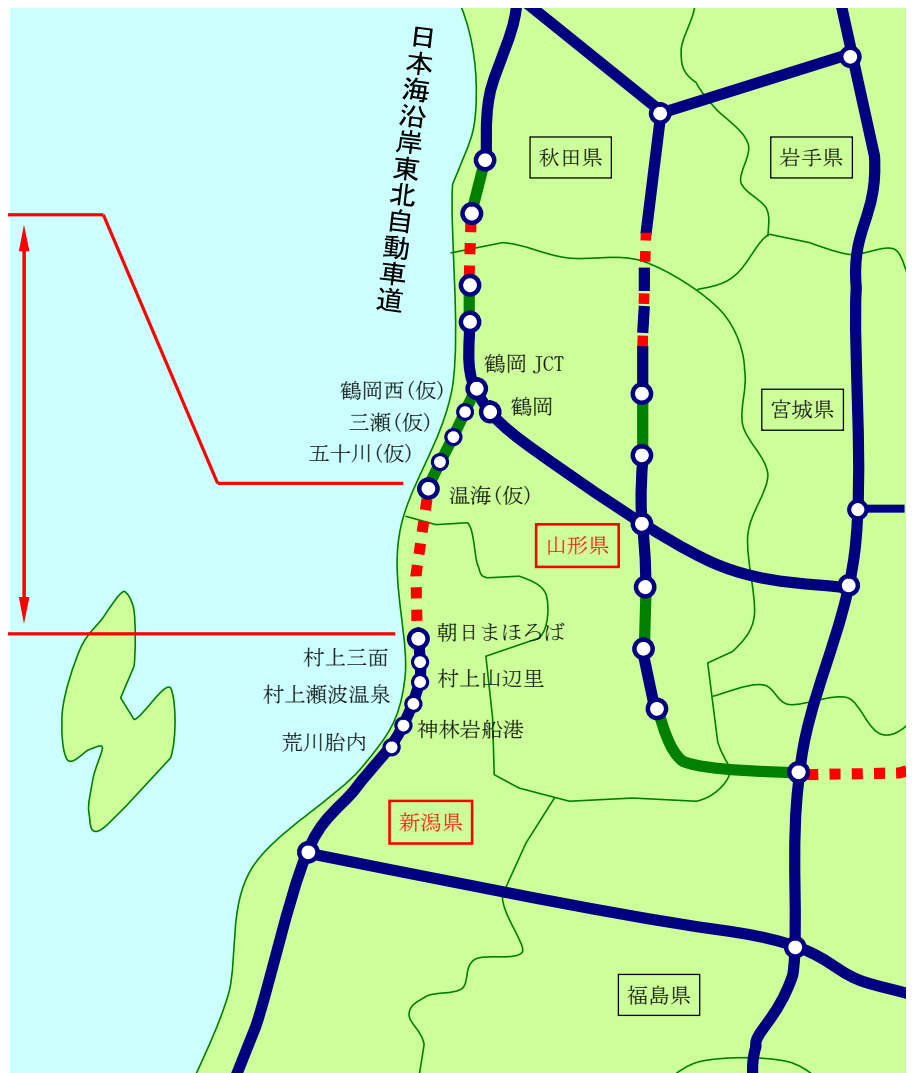
日本海沿岸東北自動車道建設促進  
新潟・山形県境地区期成同盟会

# 日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境部の早期建設を！

〈計画段階評価着手中〉

朝日まほろば～温海  
(新潟・山形県境)  
L=約36km

凡例	
	供用区間
	事業中区間
	未事業化区間



■主催／日本海沿岸東北自動車道建設促進新潟・山形県境地区期成同盟会

■共催／日本海沿岸東北自動車道建設促進新潟地区期成同盟会

日本海沿岸東北自動車道建設促進村上圏期成同盟会

日本海沿岸東北自動車道建設促進庄内地区期成同盟会

村上商工会議所

朝日商工会

山北商工会

鶴岡商工会議所

出羽商工会

■後援／新潟県・山形県

[順不同]